

修士論文（要旨）  
2023年1月

コロナ禍における滞日外国人の就労過程  
—日本語学校卒業後日本で働く中国人留学生の語りから—

指導 齋藤 伸子 教授

国際学術研究科  
国際学術専攻  
グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム  
221J1001  
佐藤 辰徳

Master' s Thesis(Abstract)

January 2023

The Working Process of Foreign Residents in Japan at Corona Disaster:  
An Analysis of Narratives of a Chinese Student Who Found Employment in Japan  
after Graduating from a Japanese Language School

Tatsunori Sato

221J1001

Master of Arts Program in Global Communication

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J.F.Oberlin University

Thesis Supervisor: Nobuko Saito

## 目次

第1章 研究の背景.....	1
1.1 コロナ禍時期における在留留学生の概況 .....	1
1.2 外国人就労者の推移と就労状況 .....	2
1.3 外国人労働者を取り巻く環境.....	4
1.4 外国人労働者の受け入れ政策の転換 .....	5
1.5 コロナ禍の留学生支援策.....	5
1.6 本研究の目的.....	6
第2章 先行研究.....	8
2.1 留学生の就労に関する先行研究 .....	8
2.2 留学生のキャリア形成に関する先行研究 .....	9
2.3 コロナ禍での留学生の就労状況に関する先行研究 .....	10
2.4 留学生の進路選択に関する先行研究 .....	10
第3章 調査概要.....	12
3.1 調査協力者 .....	12
3.1.1 調査協力者の概要 .....	12
3.1.2 協力者張さんのプロフィール .....	12
3.2 調査方法.....	13
3.2.1 インタビュー .....	13
3.2.2 インタビューの手続き .....	13
第4章 張さんの語りから .....	15
4.1 張さんの語り .....	15
4.1.1 来日前の張さん.....	15
4.1.2 留学生の張さん.....	16
4.1.3 社会人の張さん.....	18
4.2 コロナ禍時期における張さんの状況 .....	25
第5章 調査結果分析 .....	27
5.1 分析方法.....	27
5.1.1 TEM で用いられる概念.....	27
5.1.2 TEM で推奨されている法則.....	27

5.1.3	ライフストーリーと TEM を用いた分析 .....	28
5.2	TEM 図による分析 .....	29
5.2.1	TEM 図を使用する理由 .....	29
5.2.2	調査結果の分析 .....	29
5.3	分析結果と考察 .....	29
5.3.1	TEM 分析のための概念表 .....	29
5.3.2	TEM 図の作成 .....	32
5.4	分析のまとめ .....	36
第6章	考察 .....	39
6.1	コロナ禍における就労過程の特徴 .....	39
6.2	目標達成までの進路変更 .....	40
6.3	コロナ禍に翻弄された張さんの就職 .....	42
6.4	対コロナ救済策と張さんの行動 .....	43
6.5	生活維持のためにしたこと .....	43
6.6	目標達成のために生じた葛藤 .....	43
6.7	結論 .....	44
第7章	まとめと今後の課題 .....	46
参考文献	.....	I
資料	.....	V

留学の魅力とは現地の学校に通い、外国語を学び、様々な人と出会い、生活を体験することにより、社会経験をすることである。そして留学は、留学生の卒業後の進路も決定する。しかし、コロナ禍によって国際移動、対面交流が難しくなったことは留学生にとって大きな影響を与え、孤独と不安のなかで、将来に対しての進路選択の幅を狭めた。本稿の目的は就労に至る過程の中でコロナ禍に直面した日本語学校卒業生に焦点を当て、彼がどのようにこの難しい時期を生きていたのか、どのように人とつながり、どのようにして進路選択をした上で自分の居場所を見つけていったのか、そしてどのようにして日本で就職することができたのかを、調査対象者自身の語りから得られたことを基にして明らかにすることにある。

本稿では、ライフストーリー研究の手法を援用して行ったインタビューで得た語りを、複線径路等至性アプローチ (TEA) を用いて分析し、考察する。

調査協力者の張さん(仮名)は、20代後半の男性で、中国の河南省(焦作市)出身。子どもの頃に中国で日本のアニメに興味を持ち、日本の好きな歌をきっかけに日本語のネット授業を受講する。その後、日本に留学し、希望に満ちた留学生活を送るはずであったが、2019年12月より流行したコロナウイルスの影響により、張さんの留学生活は翻弄されてしまう。

そんな中でも日本での就職という目標を達成した張さんであったが、そのプロセスには、コロナ禍に起因する様々な要素の影響がみられた。その要素と張さんが日本での就労を達成させるまでの就労過程を張さんとのインタビューから文字化して描くために、調査協力者への調査を5回行い、その調査結果から記述した内容をもとに作成した TEM 図を使用して、時間とともに選択される多様な人生径路を見ながら、張さんの進路決定のプロセスとその要因について分析を行った。

本研究に用いる TEM の分析的枠組みでは、人生には、人生径路に沿って現れる分岐点 (BFP) や目標達成までの必須通過点 (OPP)、目標達成を阻害する文化・社会要因である (SD)、また SD に対抗し目標達成までを後押しする環境要因や文化・社会的支え (SG) が存在し、時間の流れとともに等至点 (EFP) に向かうというのが基本的なストーリーである。張さんの TEM においては、目標到達点である〈銀座の日本料理店で就職することを決める〉を EFP とし、特にコロナ禍期間に焦点を当てて分析した。

コロナ禍期間の張さんが日本での生活を続けていく中で、〈コロナ禍で帰国を考える〉という SD に始まり〈コロナの影響で蕎麦屋が新規採用を見送ることを決める〉SD、さらに〈コロナの影響で香港料理店が新規採用を見送ることを決める〉SD という、張さんの目標達成を阻害するコロナ禍における特殊な要因が浮き彫りとなった。しかし一方で、コロナ禍には阻害する要因だけではなく、張さんの進路を後押しする特殊な環境要因や社会的支えも存在した。特に社会的支えである〈国からの特別定額給付金をもらう〉SG や〈国からの雇用調整助成金をもらう〉SG といった日本政府の政策は、張さんの日本での生活を継続

させることの一つの要因となった。また、ビザの面でもこのコロナ禍には特別な措置が設けられ、特に、特定活動ビザの期限が延長されたこと、特定技能ビザに合格できたことなどが、SDに対抗するSGとして、張さんの目標達成にとっても大きな助けとなった。本研究のリサーチクエスチョンの回答を以下に記す。

RQ1: コロナ禍時期における日本での生活は留学生にどのような影響を与えているか。

国からの雇用調整助成金や特別定額給付金も受け取ることができたが、アルバイト収入がコロナ前より減ったため、それだけでは日本での生活を継続させていくことが難しくなり、調査協力者の場合は日雇いのアルバイトもすることになった。

RQ2: コロナ禍は就職を目指す留学生の心情にどのように影響したか。

コロナ禍に対する家族の心配も強く、日本で就職することへの意味をさらに深く考え、就職への決意を新たにするきっかけが得られた。

RQ3: 留学生はこのコロナ禍をどのように乗り切っていたのか。

自力だけでは乗り越えられず、社会的な助成を得て乗り越えることができた。職を失う可能性もあったが、自発的に次の仕事を探して、自分自身の居場所を探しながら、目標達成まで行きついた。

## 参考文献

- イヒョンジュ (2019) 「元留学生社会人のライフストーリー：日本在住韓国人の言語習得とアイデンティティを中心に」『待兼山論叢. 日本学篇』 53 p.39-62, p. 58
- 大西晶子 (2001) 「異文化間接触に関する心理学的研究についてのレビュー— 文化的アイデンティティ研究を中心に」『東京大学大学院教育学研究科紀要』 41, 301-310
- 岡村佳代・文吉英・加賀美常美代 (2016) 「多文化就労場面における韓国人元留学生の異文化間葛藤と 解決方略」『高等教育と学生支援』 2016年 第7号
- 久野弓枝 (2015) 「中国人編入留学生のライフストーリー研究(2)：進路決定要因に着目して『文化と言語 札幌大学外国語学部紀要』 50
- 久野弓枝 (2017) 「中国人編入留学生のキャリア形成に関するライフストーリー研究(3)— トランジションと agency1 に着目して —」『札幌大学総合論叢』 第44号 pp. 68-69
- 小松翠・黄美蘭・加賀美常美代, (2017) 「多文化就労場面における中国人元留学生の異文化間葛藤と解決方略」『人文科学研究』No.13 pp.41-54, p. 51
- 許倩, 松田英子, (2016) 「在日中国人留学生の異文化適応支援の現状と問題— 異文化ストレス、留学生のパーソナリティからの分析—」『東洋大学大学院紀要』 53 巻 pp. 63-76, p. 72, p. 73
- 高誉文. 大谷順子 (2021) 「新型コロナウイルス感染防止対策・知識に関する調査研究：大阪大学における中国人留学生を例にして」『大阪大学高等教育研究』9 pp.13-30 p. 24.25
- 是川夕 (2019) 「教育達成を通じた移住過程としての日本語学校 - 日本の中長期在留外国人の移動過程に関する縦断調査(PSIJ)」を用いた分析 - 14『IPSS Working Paper Series(J)』 (20) pp. 1-28
- 酒井彩 (2015) 「中国人留学生の進路選択自己効力と進路探索行動との関連 —長期的目標であるキャリアという視点から考える進路サポートに向けて—」『高等教育と学生支援 2015年』第6号 p. 23
- 酒井彩 (2016) 「日本語を学ぶ中国人留学生の進路選択と留学生活満足感 —進路未決定時期と関連要因に着目して—」『日本語教育実践研究第3号』 pp. 32-41, p. 39
- 桜井厚(2002)『インタビューの社会学：ライフストーリーの聞き方』（せりか書房）
- 桜井厚 (2012) 『ライフストーリー論』（現代社会学ライブラリー 7） p.104 弘文堂
- サトウタツヤ(2006) 「発達の多様性を記述する新しい心理学方法論としての複線径路等至性モデル」『立命館人間科学研究』12, pp.65-75

- サトウタツヤ・安田裕子・木戸彩恵・高田沙織・ヤーン=ヴァルシナー(2006)「複線径路・等 至性モデル —人生径路の多様性を描く質的心理学の新しい方法論を目指して」『質的心理学研究』5 pp. 255—275.
- サトウタツヤ編著(2009)『TEM ではじめる質的研究—時間とプロセスを扱う研究をめざして—』誠信書房
- 志甫啓(2009)「外国人留学生の日本における就職は促進できるのか— 現状の課題とミスマッチの解消に向けた提言—」『Works Review』 Vol.4(2009) pp. 208-221
- 島田徳子(2017)「元留学生外国人社員の日本企業における適応に関する研究」『東京大学博士論文』p. 243
- 鈴木伸子(2021)「日本企業に入社した留学生のキャリア形成—30歳前後のアジア出身者の事例から—」『ウェブマガジン 留学交流』2021年3月号 Vol. 120
- 高尾渉(2020)「外国人留学生の日本における就職活動に関する研究 北海道札幌市在住学生を事例として」『北海道大学平成31年度卒業論文』 p. 27
- 高橋朋子(2021)「「オール近大”新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクト」におけるアンケートならびにインタビュー調査の結果から —留学生が抱えた困難と課題—」『近畿大学教育論叢』第3巻第1号 p. 181
- 高橋朋子(2021)「移民第二世代の進路選択に影響を与える要因 —母語教育を受けた中国ルーツの子どもの事例から—」『近畿大学教養・外国語教育センター紀要』12 (1)1-21 2021-07-31
- 陳 思羽(2017)「在日定住中国人女性の居場所とホーム—ライフヒストリーの分析から—」『お茶の水地理 (Annals of Ochanomizu Geographical Society) 』vol 56
- 寺村晃. 小西尚之. 川崎一平 他(2021)「リハビリテーション養成校に入学する中国人留学生 の意思決定プロセス」『大阪大学高等教育研究』 9 pp. 31-39, 35, 36
- 中川恵理子(2009)「ライフストーリー・インタビューの世代間学習としての可能性」『生涯学習基盤経営』 pp. 34, 99-112
- 長峰登記夫(2013)「外国人留学生の日本企業への就職事情 歴史と現在」『人間環境論集 』p. p 75. 76
- 鍋島有希(2016)「外国人社員の「職場における学習」と大学教育に関する研究：日本企業の人材育成で起こるコンフリクトに着目して」—九州大学博士論文,九州大学学術情報リポジトリ



- 朴知遠 (2020) 「外国人留学生労働者のエスノグラフィー:Z 居酒屋の参与観察を通じて」  
『労働社会学研究』 21号 pp. 13.15
- フリック・ウヴェ (2002) 『質的研究入門<人間の科学>のための方法論』 春秋社
- 松本一見 (2013) 「長崎県内の大学を卒業した元留学生に対するインタビュー調査 -日本での就職活動と就労を中心に-」 『長崎外大論叢』 17号 p. 185
- 安田裕子・サトウタツヤ編著 (2012) 『TEM でわかる人生の径路 質的研究の新展開』  
誠信書房
- 安田裕子・滑田明暢・福田茉莉・サトウタツヤ(編) (2015) 『TEA 実践編―複線径路等至性  
アプローチを活用する―』 新曜社
- やまだようこ (2000) 『人生を物語る-生成のライフストーリー-』 ミネルヴァ書房
- 横須賀柳子 (2014) 「職業探索段階の留学生によるアイデンティティ変容 ―日本企業での  
インターンシップ参加者の事例から―」 『言語教育研究』 第5号 p. 67.68
- 李森 (2022) 「日本の外国人雇用政策の分析」 『福山大学経済学論集』 第46巻 p. 8

#### 参考 Web サイト

- 朝日新聞 (2020) 「10万円、夢のまた夢 日本に長年住んでも…届かぬ人々」  
6月7日夕刊 (<https://www.asahi.com/sp/articles/ASN6763V8N63PTIL02L.html>)
- 厚生労働省 (2021) 「外国人雇用状況」の届出状況表一覧 (令和3年10月末現在) [参考  
-1] 外国人雇用事業所数・外国人労働者数 (総数)
- 厚生労働省 (2021) 「外国人雇用状況」の届出状況表一覧 (令和3年10月末現在) [参考  
-5] 外国人労働者数 (在留資格別)
- 厚生労働省 (2021) リーフレット (<https://www.otit.go.jp/files/user/210215-21.pdf>)
- 厚生労働省 (2021) コロナ特例措置について (2022年10月末現在)  
(<https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/000952873.pdf>)
- 出入国在留管理庁 (2021) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う取扱い  
(2022年10月末現在)  
([https://www.moj.go.jp/isa/policies/ssw/nyuukokukanri07\\_00050](https://www.moj.go.jp/isa/policies/ssw/nyuukokukanri07_00050))
- 出入国在留管理庁 (2022) 令和4年6月末現在における在留外国人数について (2022年  
10月14日現在) ([https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13\\_00028.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00028.html))
- 日本経済新聞(2020) 6月5日朝刊 [コロナで失業外国人、職探し難しく困窮 支援の動き  
も] (<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ059997790U0A600C2CN8000/>)

日本経済団体連合会（2022）新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ等一覧（2022年10月末現在）（<http://www.keidanren.or.jp/announce/coronavirus.html>）